

新型コロナウイルス感染症の対応について

現在、首都圏や関西圏を中心に新型コロナウイルス感染症の感染者が増加してきています。学校でも感染症対策を徹底しますが、まずは登校前に健康観察の徹底をお願いします。**毎朝登校前に体温測定**を行い、発熱や長引く咳、強いだるさなどの症状がある場合は、学校に連絡の上、自宅待機をしてください。欠席にはなりません。

新型コロナウイルス感染症の予防においても、通常の風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、咳エチケットや手洗いなどの実施が重要です。下記の留意事項に十分御配慮の上、正しい知識に基づいて予防に努めていただくようお願いします。

1 【3密を避ける】

①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面はクラスター（集団感染）のリスクが高くなります。

2 【手洗い】

感染症対策として、最も重要なことは手の清潔です。ウイルスで汚染した手指で目、鼻、口などに触ると粘膜から感染する可能性があります。正しい手洗いを心掛けましょう。アルコール消毒液による手指消毒も有効です。

3 【マスクの着用】

学校ではマスクを着けましょう。使い捨てマスクが購入できない場合は、ガーゼマスクや、ハンカチを用いて「咳エチケット」に努めてください。

4 【環境整備】

室内を適切な湿度に保つ（50～60%）ことも感染予防に効果的です。また、感染症の伝播（うつる）を防ぐためには、部屋のウイルス量を下げするためにできる限り教室の窓・扉を開けて十分な換気を行いましょう。

5 【規則正しい生活】

普段から十分な睡眠とバランスの良い食事を心掛け、免疫力を高めておくことも重要です。また、不要不急の外出を避け、人が多く集まる場所には出掛けないようにしましょう。

6 新型コロナウイルス感染症については日々状況が変化しています。国や地方公共団体が発表する正確な情報を収集・把握していただくようお願いします。

7 次の症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」に御相談ください。この相談センターでは、新型コロナウイルス感染症の疑い例に該当する方からの電話相談を受け、専門医療機関への受診調整を行います。

- ・ 風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が 4 日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む。）
- ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が 2 日程度続く場合